



# いしかわ労福協

第674/675号 2024年7月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会

発行責任者 福田 佳央

編集人 上野 貞彦

〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号

電話 (076) 231-1737

FAX (076) 231-1731

<https://www.ishikawa-rofukukyo.jp>

info@ishikawa-rofukukyo.jp

毎月1回 25日発行

## 第63回通常総会

# 「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、 連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう」

### 第63回通常総会

労福協は6月24日(月)、フレンドパーク石川において第63回通常総会を代議員全員の出席で開催した。

西田満明副理事長が開催に先立ち、「令和6年能登半島地震により亡くなられた方のご冥福を祈りたい」と全員で黙とうを捧げ、今こそ共助が大切だと訴えたのち、南芳雄代議員を議長に選出した。

福田佳央理事長は、「令和6年能登半島地震からの一日も早い復旧・復興に引き続き協力していきたい。労福協が労働者福祉運動を継続するためにもライフ・サポートセンターを含めた自身のみならず労福協グループの体質強化のため、事業運営を見直しこの4月から実行に入った。

また、女性目線による意見反映を目的に女性有識者による労福協事業の検証を行っていただいた。時代に即した事業運営を進めていきたい」と挨拶した。続いて来賓の山口久雄石川県商工労働部次長兼労働企画課長、布島宏胤金沢市経済局担当次長兼商工労働課長がそれぞれ首長の祝辞を代読した。



挨拶する福田理事長

議案審議では、提案された7つの議題すべてが満場一致で承認された。

2024年度事業計画・予算については、2月開催の第7回理事会で決定されており、議案書に添付して議場に報告された。

2024年度は、改革1年目として既にスタートしており、関係する団体はもとより皆さんの引き続きのご理解とご協力を願いたい。

通常総会終了後に第2回理事会が開催され、黒谷治夫理事が副理事長に互選された。



代議員全員が出席して開かれた第63回通常総会＝金沢市のフレンドパーク石川

# 全国研究集会 2024 in 沖縄

## 「Open up the future」 子どもたちの未来のために

全国研究集会 2024 in OKINAWA (主催:労働者福祉中央協議会)が6月7日(金)、那覇文化芸術劇場なは一において開催された。

全国の労福協や事業団体などからの現地参加者に加え、YouTubeLiveの生配信があり、当労福協は、フレンドパーク石川において、17名が視聴した。

視聴開始前に福田佳央理事長が「将来を担う子どもたちをどうやって地域で支えていくか考える機会とされたい」と挨拶した。

オープニングセッションでは、玉城デニー沖縄県知事が、「沖縄は、ひとり親家庭の割合、いわゆる貧困率も高く、学校給食が唯一の食事となる子どももいると聞いている。このことから、県内すべての自治体で給食費の無償化を進めている。まだまだ課題はあるが、子どもたちの未来を支え

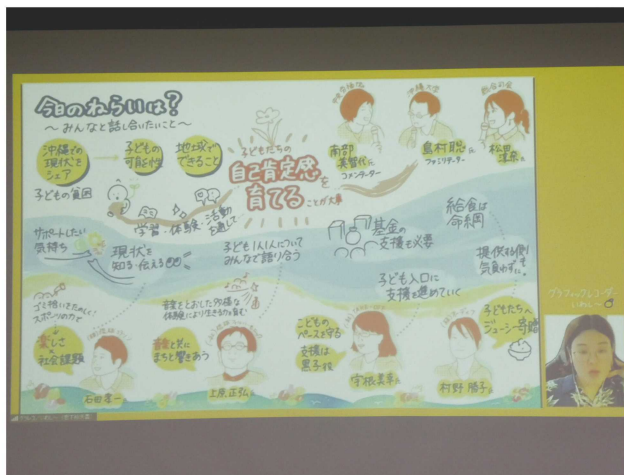
ていきたい」、また、仲宗根哲沖繩労福協理事長は「労福協も、ろうふくきょうエール基金の活用などでサポートを行っているが十分とはいえる状況にない」と子どもたちの状況を伝えた。



福田理事長

次いで、各パネラーから貧困、ヤングケアラー、ネグレクトなどの家庭事情を抱えた子どもたちの現状や支援の取り組みが語られた。

厳しい生活環境にあっても声を上げられない子どもたちの心を開かせ負担を感じさせずに如何にして手を差し伸べていくかが、大切であるとして討論を終えた。



You Tube Liveの様様

### これからの行事予定

(7月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
7月27日	土	食とみどり水 NW 海洋資源学習会	かほく市高松 IC 浜
29日	月	全国会館協 第3回幹事会 (～30日)	青森市
30日	火	こくみん共済 coop 石川代表者会議	県立音楽堂
〃	〃	いしかわフードバンク・ネット 理事会	県社会福祉協議会
31日	水	食とみどり水 NW 幹事会	連合石川
8月1日	木	中部労福協 自主福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座 (～2日)	ホテル金沢
27日	火	第17次日中友好訪問代表団 (～31日)	中国蘇州市他
29日	木	中部労福協 第2回幹事会 (～30日)	敦賀市

# 第95回石川県メーデー

復旧・復興に向けて みんなで支え合い・助け合おう！



能登半島地震で大半が焼失した輪島朝市の有志によるブースも出店され、メーデー参加者の多くが買い求めた=いしかわ四高記念公園

石川労福協は、連合石川とともに第95回石川県メーデー金沢中央大会を5月1日(水)、いしかわ四高記念公園において開催した。

今年のメーデーは、1月1日に発災した令和6年能登半島地震復興支援として開催され、現地でのメーデー開催が困難な4市5町の労働者も駆けつけ、参加者は約1,200名となった。

会場では、輪島朝市、コープいしかわなどが能登の食材などの販売を行い被災地の復興に寄与できるよう取り組むほか、災害義援金募金活動も行われた。

「ろうきん」「こくみん共済coop」が能登半島地震の被災者支援への取り組みの協力と報告を行った後、連合石川かなざわ地協による川柳コンテストも披露された。

式典は、能登半島地震により亡くなられた方に参加者全員により黙とうを捧げてから開始され、福田佳央メーデー実行委員会実行委員長が「この度の地震により多くの方が命を失い、4,500人の方が不自由な避難生活を強いられている。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに被災された方が一日も早く元の生活に戻られるよう連合石川としても復旧・復興に向けて支援を続けていきます。ボランティアを2月

から延べ207名を派遣するほか、今日も全国の連合の仲間が被災地でボランティア活動を行っています。復旧から復興へフェーズが変わっても被災地の立場の弱い方に寄り添った支援を行うなど先の長い取り組みとなるものと思っています。2024春闘では30年ぶりの高水準であった昨年を上回る賃上げを勝ち取っています。特に、勤労者の7割を占める中・小規模事業所での賃上げがカギであり、これらの事業所が適切な価格転嫁

ができるよう政府・経済界挙げて取り組んでいますが一部では価格転嫁がなされない事業所もあり、パートナーシップ構築宣言参加企業の増加を期待している。また、この賃上げは最低賃金の審議のための環境づくりでもあり、通年的に求めていかなければならない課題である。

能登半島地震の悲惨な状況を観ると自然の偉大さと怖さを実感するとともに、ロシア・ウクライナ、中東での紛争は人間の愚かさとしか言えない。社会の不条理を変えるのは民衆の力であり、メーデーは労働者の祭典でもある。一層の団結・結集でこの難局を乗り越えましょう」と挨拶をした。



福田実行委員長



フードドライブ